

グループ概要

会社概要

社名	株式会社ニコン (英文社名)NIKON CORPORATION
本社	〒140-8601 東京都品川区西大井1-5-20 TEL:03-3773-1111
代表者	代表取締役 兼 会長執行役員 馬立 稔和
設立	1917年7月25日
資本金	65,476百万円(2024年3月末現在)
売上収益	連結 717,245百万円 (2024年3月期 国際会計基準(IFRS)で表示)
従業員数	連結 19,444名(2024年3月末現在) 単体 4,388名(2024年3月末現在)
地域別グループ会社数(連結)(2024年3月末現在)	国内[ニコンを除く] 20社/欧州 18社 アジア・オセアニア 25社/米州 18社
事業内容	ニコングループは、100年以上の歴史で培った光利用技術と精密技術をもとに、多彩な製品やサービス、ソリューションをグローバルに提供しています。

企業理念

信頼と創造

経営ビジョン

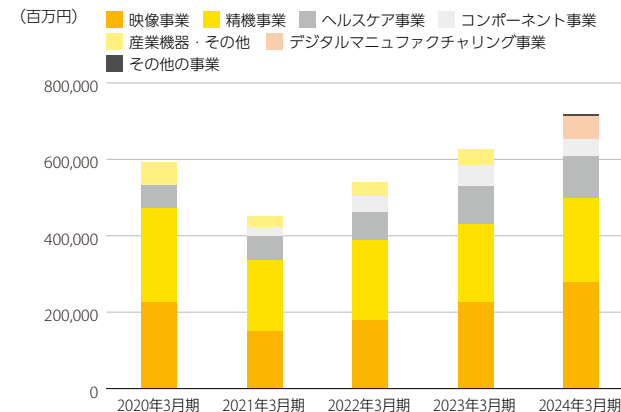
Unlock the future with the power of light

事業セグメントと主な事業、製品

- 映像事業
レンズ交換式デジタルカメラ、交換レンズ、業務用シネマカメラ
- 精機事業
FPD露光装置、半導体露光装置、アライメントステーション、計測・検査装置
- ヘルスケア事業
生物顕微鏡、網膜画像診断機器、細胞受託生産
- コンポーネント事業
EUV関連コンポーネント、光学部品、光学コンポーネント、エンコーダ・測定・検査システム、FPDフォトリソマスク基板
- デジタルマニュファクチャリング事業
金属3Dプリンター、光加工機、3Dスキャナー、材料加工受託

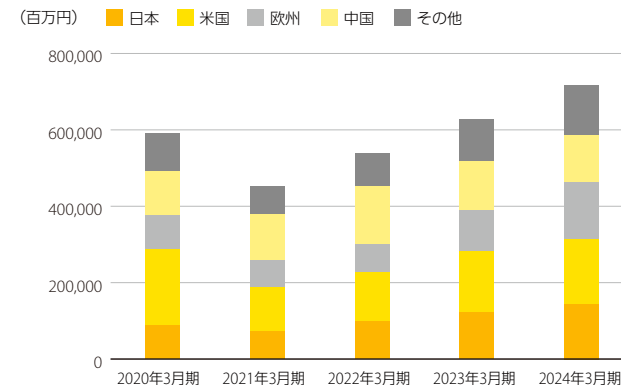
主な財務データ

● 事業別売上収益推移 (連結)



※ 国際会計基準 (IFRS) で記載。
※ 2024年3月期より、「デジタルマニュファクチャリング事業」を報告セグメントとして新たに設定。
※ 事業別売上収益は外部売上収益構成比。

● 地域別売上収益推移 (連結)



※国際会計基準(IFRS)で記載。

社外からの評価

ニコングループは、サステナビリティ活動を積極的に推進している企業として、さまざまな外部機関より評価されています。

ESG投資インデックス組み入れ状況 (2024年6月15日現在)

Dow Jones Sustainability Indices [DJSI World]

および [DJSI Asia Pacific]

選定: 2018年より

毎年世界の大手企業を対象に「経済」「環境」「社会」の3つの側面から企業の持続可能性を評価して数値化し、業種別の評価結果、上位約10%を「DJSI World」に、アジア・太平洋地域の上位約20%を「DJSI Asia Pacific」に選定します。

Member of

Dow Jones Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

FTSE4Good Index Series

選定: 2004年より

ロンドン証券取引所に属するFTSE Russell社が作成する世界の優良企業を選定したESG投資インデックスです。



FTSE4Good

FTSE Blossom Japan Index^{*1}

選定: 2017年より

ESGの視点から優れた日本企業のパフォーマンスを反映するよう設計されたインデックスです。



FTSE Blossom
Japan Index

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index^{*1}

選定: 2022年

各セクターにおいて相対的に「環境」「社会」「ガバナンス」について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されています。



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

MSCI日本株ESGセレクト・リーダース指数^{*1*2}

選定: 2024年より

MSCI日本株IMI指数構成銘柄の中から、ESG評価に優れた企業を選定して構築された指数。業種の偏りを抑制するため、S&Pの世界産業分類基準(GICS)の業種分類を活用し、業種内でESG評価が高い上位50%の企業を選定している。

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダース指数

MSCI日本株女性活躍指数^{*1*2}

選定: 2019年より

日本株の時価総額上位500銘柄の中から、各業種の中で性別多様性に優れた企業が選ばれています。

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数^{*1}

選定: 2018年より

日本市場の代表的な株価指数であるTOPIXをユニバーサスとし、環境情報の開示状況、炭素効率性の水準に着目して、構成銘柄を決定する指数です。



*1 GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人) のESG指数に採用されています。

*2 株式会社ニコンがMSCIインデックスに含まれること、および本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社ニコンへの後援、保証、販促には該当しません。MSCIインデックスは、MSCIの独占的所有です。MSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

ESG評価（2024年3月15日現在）

CDP 気候変動Aリストおよび

CDP Supplier Engagement Leader

CDPは、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家などの要請に基づき、企業や自治体に、気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、その対策を促すことを主たる活動としている非営利組織です。気候変動では、最高ランクのAを獲得した企業が「Aリスト」に選定されます。ニコンは、2019年度から5年連続で、この「Aリスト」に選定されました。

またニコンは、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するCDPのサプライヤー・エンゲージメント評価においても、最高評価である「Supplier Engagement Leader」に、2019年度から5年連続で選定されました。



MSCI ESG レーティング「AAA」

MSCI ESG レーティングは業界固有のESGリスクおよび、同業他社と比較した当該リスクに対する管理能力に応じて、企業のESGパフォーマンスを「AAA」から「CCC」まで7段階で格付けしたものです。ニコンは、2023年、2024年と連続して、最高評価である「AAA」を獲得しました。

*THE USE BY NIKON CORPORATION OF ANY MSCI ESG RESEARCH LLC OR ITS AFFILIATES ("MSCI") DATA, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT, RECOMMENDATION, OR PROMOTION OF NIKON CORPORATION BY MSCI. MSCI SERVICES AND DATA ARE THE PROPERTY OF MSCI OR ITS INFORMATION PROVIDERS, AND ARE PROVIDED 'AS-IS' AND WITHOUT WARRANTY. MSCI NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI.



ISS ESG「Prime」評価

インスティテューショナル・シェアホルダー・サービスズ(ISS)の責任投資部門であるISS ESGは、サステナビリティ格付け評価を行っています。2023年12月4日にESG コーポレートレーティングにて、環境・社会・ガバナンスの観点から企業の取り組みを評価し、各業界内で高い評価を受けた企業に与えられる「プライム」評価に認定されました。



Sustainability Yearbook 2024

「Top10% S&P Global CSA Score」

S&P グローバル社は、毎年、世界の上場企業を対象に Corporate Sustainability Assessment (CSA) により、経済、環境、社会の側面から企業の持続可能性を評価しています。同社は、このCSA で高いスコアを獲得した企業を識別することを目的に、上位15%の企業を「The Sustainability Yearbook」に掲載しています。ニコンは、「The Sustainability Yearbook 2024」において、所属する業種カテゴリのトップ企業とのスコアの差が10%以内の企業として、このYearbookに掲載されました。2023年のCSAでは、62の業界、約9,400社を対象に調査が行われ、「The Sustainability Yearbook 2024」には759社が掲載されています。



Sustainalytics ESG Risk Ratings

Sustainalytics社は、企業が重大な ESG 課題にどの程度さらされているか、どの程度適切に管理しているかを評価しています。機関投資家が財務的に重要(マテリアル)なESGリスクを個別銘柄/ポートフォリオレベルで特定・理解することを支援するために設計されたESGリスクレーティングにて、Low Risk評価を得ています。

